



師と父兄の悲喜トリオ

中等學校の入学が発表に然過ぎる程だらう、なつて漸く安心しました。それで中等教育はもつと可憐いさうであつたし親費用も餘り要せぬ様に思ふ。身になつても一通りの苦事が保証して呉れてよといふ。長い間特殊の豫習教育を施して頑固な児童の心身を従らに消耗して而かも尚志望者の半数に落第の憂目を見せると云ふ事は全く悲惨だ。

豫習教育の弊は餘りに明瞭である、然し現在の制度のもとに豫習教育の弊を説くのは源を清めずして水の濁れるをなぐり様なもので、どんな調を出した所で豫習教育をとめることは出来ない、先生の身になつて見るがよい、父兄の心を考へて見るがよい、自分の教へるのを愛児が落第の憂目を見るのをおめくこと手をつかねて見られるものだらうか、試験の方針を毎年變るといふ事は従らに小學校の先生の心勞の程を増し児童を苦ましめるばかりで豫習を廢すと云ふ結果には絶対にない事だ。それは今日の中等教育は義務教育の延長と見てよい社會常識として中等程度の教育は何人にも必要である。六ヶ年の義務教育制度が不足で學級の編制にさへ來てから既に久しい事だ、若しである所があるといふ當時の社會状態と今日のそれを比較したならばそれが當る組織の不完全を語るべきだ。

元祿名妓傳

小邑 井小巴演 (宮野恒彦書) 三十五席 馬方が金、あは、立て前と云ふほどのこととはなくとも、お前さん少しおごりなせ、人から話しを聞かすへのだ、にござる位よいをします、善、何か有はあから他に仕方がありません。だらう、おごつて置いて聴るまいか、老、天門踏の砂はなとおあがりなつて、くことになせ、善、然ればまだあります、金、イヤ、御馳走様、七うごころ、や、いは、是れは『アレなんことを云つて公道うだ』七、俺には成るを出しねえ、又跡から取つ有になる、酒も残らずつけ



拈華微笑 かける 野社長 替中合格者の貼。全山の士氣は微妙な處から借り度いと小名のプロ級は語る。師。父兄。子女 日本一張り合ひ等々。人の山 のないあす機会 あす更衣。燈を全従業員に呼びの選挙。私が行き届かなかつた、婆居やがる、酒の肴に菓子アさん酒はあるまいか、老とうなる、オ、婆アア、ハイ、茶でござい、あまのものは駄目だ、ア、金、仕様のない婆、他に何かねへか、老、ハイ、幾ら耳が遠いからつて、やぶ尻のおとりさア、婆、買ひたい人があつたら、玉子を預かつてあり、ア、酒だ、酒があるかと、賣つて呉と頼まれて、金、仰しやうだ、老、あ、に、豪氣、幾つばかりある、婆、賣るのはないが、お、婆、二十五六あり、村の久六さんに頼まれて取、金、こんな所で玉子焼、て置いたのはあります、さ、出来ぬへから、そいつ、金、お客さんが酒と云ふ、を皆ゆつて呉んやうで玉子、かまふこたアねへ、そいつにして鹽をつければ結構な

元祿名妓傳 (宮野恒彦書) 三十五席 馬方が金、あは、立て前と云ふほどのこととはなくとも、お前さん少しおごりなせ、人から話しを聞かすへのだ、にござる位よいをします、善、何か有はあから他に仕方がありません。だらう、おごつて置いて聴るまいか、老、天門踏の砂はなとおあがりなつて、くことになせ、善、然ればまだあります、金、イヤ、御馳走様、七うごころ、や、いは、是れは『アレなんことを云つて公道うだ』七、俺には成るを出しねえ、又跡から取つ有になる、酒も残らずつけ

- △前六、三〇、七〇〇〇〇〇 経済市況
- △八、四〇〇〇〇〇〇 経済市況
- △九、〇〇〇〇〇〇〇 経済市況
- △九、〇〇〇〇〇〇〇 経済市況

- △九、三〇〇〇〇〇〇〇 家 庭講座 鏡一丁あはは
- △九、三〇〇〇〇〇〇〇 家 庭講座 鏡一丁あはは
- △九、三〇〇〇〇〇〇〇 家 庭講座 鏡一丁あはは

- △七、二五、七、五五〇 講 演 (四月馬鹿の話) 坪内士
- △七、二五、七、五五〇 講 演 (四月馬鹿の話) 坪内士
- △七、二五、七、五五〇 講 演 (四月馬鹿の話) 坪内士

大太いものでくんな、お前とは云ひ無謀千萬。人は遠慮も合群もない、ガア、飲み善、實はお前さん方、私も江戸本町のものだが、同じ年頃の家出娘の詮議に出て來ました、先刻のお話しが私の尋ねる娘のやうでならない、くわい、ことを聞かして下さい、其代、酒肴は私のおごりだ、婆、さん先へ勘定して置、善、兵衛此の時、あいに小出しの金があつた、ブル、と懐中から引出したどうも、これには前申上けた五十兩の金が蛇がへるを吞込んだ形になつて入つてゐる、其中から二分の銀、一ツ渡した、御當節の五十兩ばかりの金は持つて居るが居ないか、知れぬ程だが昔の額銀五十兩は、ズッシリ重い酒を飲みながら、横目でにらんだ七藏金八の兩人、こいつは良い玉が、かつた、此の爺いを叩つめて、目と目話し合つた、善、そんな無頼とは知らず、善、今日引ずらした行つた娘を待つべき日、五黄の人の思はず知らず岐路に走り易き注意の日、六六の人の氣を外さぬ様にすれば長上への助けあり、七赤の人の自然に幸福を受くる吉日な八白の人、投機心を出す時、は失敗を招く常業を守るべからう、氣に入らぬれば府中の二丁目か、清水港へ持参する日、但目下に就き散財あつて行、宿場女郎に叩き寄るべし。

比無醇芳 醸吟一徳本松 五八二話電平

- △七、二五、七、五五〇 講 演 (四月馬鹿の話) 坪内士
- △七、二五、七、五五〇 講 演 (四月馬鹿の話) 坪内士
- △七、二五、七、五五〇 講 演 (四月馬鹿の話) 坪内士

市原醫院 電話二一四番 (入院隨意) 内科、小兒科、外科、一般、婦人科、皮膚科、梅毒、淋疾、皮膚病、性病、市原、三三男

度量衡計量器

吸入用酸素素 吸入器 関内薬局

市原醫院

電話二一四番 (入院隨意) 内科、小兒科、外科、一般、婦人科、皮膚科、梅毒、淋疾、皮膚病、性病、市原、三三男

蜂ブード

美味の一杯 滋養の一杯 血を培い肉を肥す 此の一杯

石炭大廉賣!!!

正味十貫目一俵 金井錢也 (磐城炭礦二等炭) 電話二二二七番 阿部石炭商店

木村外科醫院

電話三〇九

どんよりと薄霞んで 紛ふ方なき花曇り

紅唇に處女の羞恥を見せて 松ヶ岡新川の櫻漸く近づく

今日あたりの天候は粉雪が満ちて朝晩、九得として就任する。方無き花曇り。風は吹かず、中国地方にまで埃をふりまき、薄霞のかぶさつり、まいて黄色く濁つた。黄た様に明暗のハッキリした砂の現象を呈する、するまごころやうな空模様、と朝夕の、遠い山の色も青暗れ、弱く日射しを透して、これが、まほ花曇りの見る瀟灑たる花の風情こそ正體なんぞです。わが國の春獨特のものである、が、此の晴れきらず、と云つて降りもしない山も、野も、森も、柔かい緑で、輪廓を包む低廻趣味の花曇りの正體は一體何であらう。

各鎮演武會

本月の山神祭に湯本入山、宮城、磐城、好問古河、松尾、間武、徳島、は来月十五、六、兩日の山神祭に剣道、柔道、つけやうと思ひはる處にも、等車一臺の運轉をばし、午後一時頃、大井川津に出た。

無熱の農會と異り 相當の競争を豫想

四月廿五日執行される。小川江筋組合議員選舉。四倉町外七ヶ村を區域とする。小川江筋組合議員の選で、明日執行される。等車一臺の運轉をばし、午後一時頃、大井川津に出た。

利子は勿論安いが 想た程に貸さぬ

些か期待に反する。小名濱公、質屋の成績。小名濱町の公設質屋は去十原因と目されて、五日より取扱ひを開始した。二十九日迄十五日間の成績は、買入數十件、金銀、長谷川四良氏(四倉町)が、四十六圓十銭で業務は、不振で目下の處では、營困難の状態にあるが、民衆的施設として、活躍を期待されたい。

内郷の自殺二件

若い燕に捨てられた。夫婦の病を苦にした。内郷村白水花に捨てられた。夫婦の病を苦にした。内郷村白水花に捨てられた。夫婦の病を苦にした。

春のバスと不妊症

彼女達は憂鬱に。春のバスと不妊症。彼女達は憂鬱に。春のバスと不妊症。彼女達は憂鬱に。

入山運輸課長 清見氏退社

三日出發東京。入山運輸課長 清見氏退社。三日出發東京。入山運輸課長 清見氏退社。

炭價の急騰

炭價の急騰。炭價の急騰。炭價の急騰。

上遠野の代書

最後の審判下る。上遠野の代書。最後の審判下る。

磐城中學合格者

今三十一日午前發表。磐城中學合格者。今三十一日午前發表。

佐藤助氏葬儀

明日神谷村金台寺。佐藤助氏葬儀。明日神谷村金台寺。

父鈴木平吉儀病氣の處療

此後謹告仕候。父鈴木平吉儀病氣の處療。此後謹告仕候。

父鈴木平吉儀病氣の處療

此後謹告仕候。父鈴木平吉儀病氣の處療。此後謹告仕候。

父鈴木平吉儀病氣の處療

此後謹告仕候。父鈴木平吉儀病氣の處療。此後謹告仕候。

父鈴木平吉儀病氣の處療

此後謹告仕候。父鈴木平吉儀病氣の處療。此後謹告仕候。

父鈴木平吉儀病氣の處療

此後謹告仕候。父鈴木平吉儀病氣の處療。此後謹告仕候。

吉田眼科病院

平町紺屋町。吉田眼科病院。平町紺屋町。

お机の本箱の會

中、高、女、各學校。お机の本箱の會。中、高、女、各學校。

父鈴木平吉儀病氣の處療

此後謹告仕候。父鈴木平吉儀病氣の處療。此後謹告仕候。

父鈴木平吉儀病氣の處療

此後謹告仕候。父鈴木平吉儀病氣の處療。此後謹告仕候。

父鈴木平吉儀病氣の處療

此後謹告仕候。父鈴木平吉儀病氣の處療。此後謹告仕候。

父鈴木平吉儀病氣の處療

此後謹告仕候。父鈴木平吉儀病氣の處療。此後謹告仕候。

父鈴木平吉儀病氣の處療

此後謹告仕候。父鈴木平吉儀病氣の處療。此後謹告仕候。

父鈴木平吉儀病氣の處療

此後謹告仕候。父鈴木平吉儀病氣の處療。此後謹告仕候。

父鈴木平吉儀病氣の處療

此後謹告仕候。父鈴木平吉儀病氣の處療。此後謹告仕候。

父鈴木平吉儀病氣の處療

此後謹告仕候。父鈴木平吉儀病氣の處療。此後謹告仕候。

父鈴木平吉儀病氣の處療

此後謹告仕候。父鈴木平吉儀病氣の處療。此後謹告仕候。

父鈴木平吉儀病氣の處療

此後謹告仕候。父鈴木平吉儀病氣の處療。此後謹告仕候。

父鈴木平吉儀病氣の處療

此後謹告仕候。父鈴木平吉儀病氣の處療。此後謹告仕候。

父鈴木平吉儀病氣の處療

此後謹告仕候。父鈴木平吉儀病氣の處療。此後謹告仕候。

父鈴木平吉儀病氣の處療

此後謹告仕候。父鈴木平吉儀病氣の處療。此後謹告仕候。

父鈴木平吉儀病氣の處療

此後謹告仕候。父鈴木平吉儀病氣の處療。此後謹告仕候。

父鈴木平吉儀病氣の處療

此後謹告仕候。父鈴木平吉儀病氣の處療。此後謹告仕候。

父鈴木平吉儀病氣の處療

此後謹告仕候。父鈴木平吉儀病氣の處療。此後謹告仕候。

父鈴木平吉儀病氣の處療

此後謹告仕候。父鈴木平吉儀病氣の處療。此後謹告仕候。

父鈴木平吉儀病氣の處療

此後謹告仕候。父鈴木平吉儀病氣の處療。此後謹告仕候。

父鈴木平吉儀病氣の處療

此後謹告仕候。父鈴木平吉儀病氣の處療。此後謹告仕候。

父鈴木平吉儀病氣の處療

此後謹告仕候。父鈴木平吉儀病氣の處療。此後謹告仕候。

父鈴木平吉儀病氣の處療

此後謹告仕候。父鈴木平吉儀病氣の處療。此後謹告仕候。

父鈴木平吉儀病氣の處療

此後謹告仕候。父鈴木平吉儀病氣の處療。此後謹告仕候。

父鈴木平吉儀病氣の處療

此後謹告仕候。父鈴木平吉儀病氣の處療。此後謹告仕候。

父鈴木平吉儀病氣の處療

此後謹告仕候。父鈴木平吉儀病氣の處療。此後謹告仕候。

父鈴木平吉儀病氣の處療

此後謹告仕候。父鈴木平吉儀病氣の處療。此後謹告仕候。